

第6回 IDEHA雪崩事故防止講習会(クラス1)

今回で6回目を迎えるIDEHA雪崩事故防止講習会。

今回新たに「気象」の項目を追加して、より安全に雪山で活動して頂くための講習を用意いたしました。内容の濃い3つの講習会ですが、実際に知っていると知らないとでは雪山での安全性が大きく変わってきます。それぞれの分野の第一線で活躍している素晴らしい講師陣が揃い、皆様に最新の知識と技術をお届けできる講習会です。雪山で自分の身を守るためにも、皆様の講習会への参加をお待ちしております。

開催日 11月12日(日)

開催時間 AM10:00~PM17:00

講習会場 山形テルサ1大会議室 ※山形駅西口すぐ

参加対象 雪山を愛する皆様

定員 50名(※定員になり次第締め切らせて頂きます。)

講習料金 4,000円

準備品 筆記用具、昼食(お弁当持参・外食可)

お申込み IDEHAホームページ申込みフォーム・メール・FAX等でお申し込み下さい。

〆切 11月8日(水)

講習内容&タイムスケジュール

受付 AM9:30~9:50(建物1階大会議室にて)

①「積雪に関する一般知識・雪崩と気象との関連」 AM10:00~12:00

降雪の仕組み・雪崩の基礎知識を分かりやすく説明します。

雪崩を知るにはどのように雪が出来て、どんな雪が雪崩を引き起こすのかを知る必要があります。今回気象の講習と組み合わせることで、より降雪の仕組みが分かる内容になっています。

2018年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

雪氷防災研究センター 新庄支所 所長 小杉 健二博士

②「雪山リスクマネジメント」 PM13:00~15:00

雪山では雪崩だけを注意すればよいものではありません。低体温症や凍傷など通常のツアーでも起こりうるであろう事故は多々あります。影に潜む危険性と対処法を予備知識として頭に入れておきましょう。知っていると知らないとでは生死に関わることも。目から鱗の講習会です。

2018年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

③「冬の天気図について」 PM15:10~16:40

分かっているようで以外に分かっていないのが気象。気象の基本的な話から、天気図の読み方、冬型の気圧配置の特徴や、最近多い南岸低気圧の特徴まで、自身もBCスキーヤーの関原講師が自分の経験も交え説明して頂きます。天気図を正しく読むことから安全の第一歩が始まります

2018年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本気象協会 気象予報士 関原 孝俊氏

※ 昨年受講された方は基礎講座免除で実技を受講することが出来ますが、受講することをお勧めします。

※ 山形テルサ 〒990-0828山形市双葉町1丁目2-3 TEL023-646-6677

※ 雪崩講習時昼食を12:00~13:00の間で昼食を挟みます。

※ 駐車場は隣接して山形駅西花笠パーキングがあります。各自でのお支払いになります。

お申込み・お問合せ IDEHA 担当:石沢

URL:<http://www.ideha.jp> E-mail:ideha@khaki.plala.or.jp TEL:090-7067-0667